

第94回福島県中央メーデー開催！！



だれもが認めあう持続可能な社会へ～みんなが輝く“ふくしま”を創る～



連合福島は、実行委員会を組織しながら4月29日(土)、第94回福島県中央メーデーを福島市「さんかく広場」と歩行者天国となった「吾妻通り」で開催した。当日は天候にも恵まれ、県庁前広場からデモ行進をスタートし、メーデーの意義である「すべての働く者の権利と社会的地位向上」を市民に訴えた。式典には1,040人の仲間が参加し、その後の「ふれあいイベント」も多くの組合員や家族、大勢の一般市民の方が楽しんだ。



主催者挨拶・澤田精一実行委員長



式典で澤田精一実行委員長が主催者を代表し、「私たちを取り巻く状況は、コロナ禍による社会・経済活動の停滞に加え、急激な物価高が、生活に大きな影響を及ぼしている。とりわけ立場の弱い人に大きな影響を与えている。今こそ、「底上げ・底支え」、「格差是正に向けた分配構造の転換」、「社会的セーフティネットの強化」につながる政策・制度を通じて、雇用とくらしを守り、将来の希望につなげることが重要である。

メーデーは、労働者の地位や労働条件の向上、権利拡大はもとより、民主主義の発展、国際連帯、恒久平和の実現を求める「労働者の祭典」である。内外の情勢が不確実な時こそ、改めてメーデーの意義を確認し、「働くことを軸とする安心社会」の実現に向けて、ともに進んでいかなければならない。」と挨拶した。



来賓挨拶・左から佐藤宏隆福島県副知事、斎藤房一福島副市長、引地真国見町長、金子恵美立憲民主党県連代表、吉田恵三国民民主党県連組織委員長、狩野光昭社民党県連代表、馬場雄基衆議院議員

続いて、佐藤宏隆福島県副知事、斎藤房一福島副市長、引地真国見町長、金子恵美立憲民主党県連代表、吉田恵三国民民主党県連組織委員長、狩野光昭社会民主党県連代表、馬場雄基衆議院議員から祝辞が述べられた。メーデー宣言の採択と決議文の手交後、澤田実行委員長がガンバロー三唱で締めくくった。アピールコンテストでは、電機連合・NECプラットフォームズ労働組合福島支部が最優秀賞に輝いた。

ふれあいイベントは、「福島大学混声合唱団」、「羽舞さんの大道芸パフォーマンス」、「aveコンサート」、「仮面ライダーライブ撮影会」などで、大いに会場は盛り上がった。

さらには「親子deものづくりコーナー」、「ゆるキャラとあそぼう!」、「ふあふあ遊具やミニ鉄道」、「福島県産農産物の販売」、「桜の聖母短大×いちいのコラボ弁当販売」や「授産施設作品展示即販売会」など数多くのテントが出店し、大盛況のメーデーとなった。



NECプラットフォームズ労働組合福島支部の皆さん



澤田実行委員長の発声で、団結ガンバロー三唱